

【研究課題名】「心理的バイタルサイン (Psychological vital sign : PVS) のストレス自己統制尺度と職業性ストレス度簡易調査票尺度の相関に関する研究」

【研究機関名・長の氏名】三重中央医療センター附属三重中央看護学校・霜坂 辰一

【研究代表者名・所属】武岡良展・三重中央医療センター附属三重中央看護学校教員

1. 研究の目的

ストレスからの自己回復を支え、自分の力でストレスコーピングが可能となるように標準化された心理的バイタルサイン (PVS) は、4つの尺度で構成されています。2016年から従業員50名以上の事業所で義務化された厚生労働省の職業性ストレス簡易調査票を看護学生版に一部修正しPOMSの代用を図りたいと考えています。

2. 研究の対象者

西暦2016年6月～7月にかけて、国立病院機構三重中央医療センター附属三重中央看護学校に在籍する看護学生のうち、口頭及び文書で同意を得られた者かつ、今回の研究に対する情報公開+拒否機会（オプトアウト）に申し出なかった者

3. 研究の方法

ストレス自己統制尺度と職業性ストレス度簡易調査票尺度（学生版）、POMS質問紙を統計学的に分析し、構成概念妥当性を検証します。

統計学的方法：相関（SPSS Statistics23）及び構造方程式モデリング（SPSS Amos22）

4. スケジュールあるいは研究期間

西暦2016年6月～7月

5. 個人情報等の取り扱い

学生からは口頭及び文書にて同意を得ています。さらに情報を公開し、研究参加の拒否、撤回ができるようにしています。また、研究対象者の秘密保護に十分配慮するとともに、本研究の目的以外に本研究で得られた情報を利用しません。

6. 医学・看護上の貢献

POMS質問紙の代用として職業性ストレス簡易調査票（看護学生版）が運用できれば、学生から就労につながる連続的な指標の参考となり、活用域はPOMS以上に拡大します。本尺度の安定的運用により、学生の心理的サポートの一助となり、フィードバックによる看護実践力の育成としてストレスマネジメント能力の獲得につながるため本研究の意義は大きいと考えます。

☆本研究について、研究計画や関係する資料や情報を知りたい場合は、他の学生の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。また、研究成果は学会等で発表されますが、その際も学生は特定できません。

上記の研究に対して情報の利用を見合わせたい場合は、以下にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

〒514-1101 三重県津市久居明神町 2158-5

三重中央医療センター附属三重中央看護学校 教員 武岡良展

TEL : 059-259-1177